

医療分野で新しい取り組み。生まれてきたばかりのあかちゃんに本物を提供

## 「衣料」×「医療」

### ベビー子ども服のファミリア、倉敷成人病センターと協業による業務連携開始 共同開発の新生児院内ウェアを周産期センターへ導入

—for the first 1000days～初めてあかちゃんが触れるものを、より良いものに—

株式会社ファミリア(所在地:神戸市中央区、代表取締役社長:岡崎忠彦)は、一般財団法人 倉敷成人病センター(所在地:倉敷市白楽町、理事長:高本均)と業務連携を開始しましたのでお知らせいたします。

衣料業界のファミリアと医療業界の倉敷成人病センターの協業により、共同開発した新生児院内ウェアを周産期センターに導入することが決定いたしました。医療の最前線で働いている助産師・看護師とベビー子ども服のファミリアがそれぞれの目線でアイデアを出し合い、共同開発しました。

さらに、あかちゃんにとって最も大切な初めての1000日間「for the first 1000days」をコンセプトにしたファミリア代官山店の TOUCH=体感コンテンツを院内に設置いたします。初めての出産で必要な肌着やウェアを展示し、実際に触れることで、良いものにふれる大切さを知るきっかけの場をご提供します。あかちゃんの成長に合わせた必要なアイテムもご覧いただけます。

ファミリアは「for the first 1000days」を通して、医療分野における新しいビジネスの創出とブランド価値の向上を目指し、“衣料”と“医療”が連携することで、生まれてきたばかりのあかちゃんに本物を提供いたします。

ファミリア×倉敷成人病センター詳細ページ:<http://www.familiar.co.jp/news/kurashiki.html>



# familiar



 倉敷成人病センター  
Kurashiki Medical Center

#### 【協業の背景と今後の取り組み】

ファミリアの取り組み「for the first 1000days」には生まれたばかりのあかちゃんが体感する=TOUCH“はじめて触れるものは本当に良いものであってほしい”という想いがあります。一方、「ひとりひとりにやさしく最良の医療を」コンセプトに妊婦さんやあかちゃんをサポートしている倉敷成人病センターには“本当に良いものに触れさせることで子ども達が健やかな成長と発達を遂げることができるように”という想いがあります。あかちゃんが生まれてきてから成人まで、広く生涯を見据えた成育医療構想による意見が合致したことで今回の協業が実現しました。

今後は双方の強みを活かし、院内ママさんのネットワーク構築を目指してまいります。

【読者、一般のお客様からのお問い合わせ】

株式会社ファミリア カスタマーサービスセンター  
0120-078-345

【本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ】

ファミリア PR 事務局 MAIL:familiar@vectorinc.co.jp  
TEL:03-5572-7305/FAX:03-5572-6065

# familiar

## 【新生児用院内ウェアについて】

あかちゃんの肌に直接身につける肌着やウェアはネクストスキン(第二の肌)と呼ばれるほど、大切な衣類です。産まれたてのあかちゃんの敏感な肌にも安心・安全なものを作りました。

あかちゃんの着心地、ママの着せやすさ、助産師さんたちの使いやすさ、全てを叶える肌着やウェアのかたちまで一つずつ検討しました。

### こだわりポイント①

初めてのママもスムーズにお着替えしやすいように、肌着とウェアを一体化させています。

### こだわりポイント②

あかちゃんの顔色がわかりやすいように、汚れが目立つ清潔感のある白を選びました。見た目だけではなく愛情からのこだわりです。



### こだわりポイント③

倉敷成人病センターのマークを取り入れた、可愛いオリジナルデザインのワンポイントです。



## 【for the first 1000days について】

### あかちゃんにとって大切な“最初の1000日間”

妊娠が判明してから出産までの約270daysと、あかちゃんが産まれてから、2歳までのお誕生日を迎えるまでの730daysを合わせた期間です。あかちゃんはおなかの中で、からだの機能を整えながら、外からの刺激を受けておおきくなります。そして出産後は、心とからだ、五感をさらに発展させて、2歳になる頃には、立ちながらお話が出来るまでに成長していきます。この1000daysに何と関わることが、あかちゃんにとって重要になってきます。

動画 URL: <https://youtu.be/z-bMQ08g12g>



## 【倉敷成人病センターについて】

岡山県・倉敷市内にある倉敷成人病センターの産科(周産期センター)での出産は増加の一途をたどり、2010年には1,600件を超え(うち帝王切開は約250件)、これは中四国随一の分娩数です。近隣には高機能病院2施設があり、これら施設との連携、さらに保健所など地域の行政機関や周辺施設とのネットワークも充実した環境の中で、産科診療・母子支援を行っています。産科事情の厳しい昨今、「出産難民」を作らないよう地域に根ざした病院・周産期センターであることを目指しています。

HP: <http://www.fkmc.or.jp/>



【読者、一般のお客様からのお問い合わせ】  
株式会社ファミリア カスタマーサービスセンター  
0120-078-345

【本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ】  
ファミリア PR 事務局 MAIL: [familiar@vectorinc.co.jp](mailto:familiar@vectorinc.co.jp)  
TEL: 03-5572-7305/FAX: 03-5572-6065

# familiar

## 【業務連携に関する記者発表のご案内】

### ◆開催概要

開催日：平成 29 年 3 月 11 日(土)

時間：第一部 プレス発表／11:00～12:00(受付開始 10:30 )

第二部 ママ向けトークイベント／14:00～16:30(受付開始 13:30)

会場：倉敷成人病センター 9 階 多目的ホール(岡山県倉敷市白楽町 250)

( 但し、第二部は倉敷成人病クリニック 1 階 \*隣の建物)

入場料：無料

### ◆プレス発表 目次

[ごあいさつ] 一般財団法人倉敷成人病センター 理事長 高本 均

[概要説明] 株式会社ファミリアとの連携とこれからの展開について

[for the first 1000days の重要性] 小児科医師 小谷信行

[for the first 1000days の取り組みについて] 株式会社ファミリア 代表取締役社長 岡崎忠彦

## 【ファミリアについて】

ファミリアは創業 67 周年。これからもお客様へ「愛情品質」の製品をお届けいたします。

ファミリアのスタートは 1950 年、戦後まだ生活にゆとりのなかった時代。

坂野惇子をはじめとした 4 人の女性たちが、欧米のすぐれた育児法を採り入れることによって、当時の古い日本式育児習慣を大改革しようと、神戸に小さなベビーショップを開いて以来、これまでたくさんの製品を生み出してまいりました。ファミリア製品のコンセプトは「愛情品質」。

これは、「自分の子どもに着せるつもりで、ものづくりをしましょう。」という意味。

ファミリアの製品は、そんなちょっとした「こだわり」と「愛情」を込めて、子どもたちやご家族にお届けしています。

## 【会社概要】

会社名：株式会社ファミリア

代表者：代表取締役社長 岡崎忠彦

設立：1950 年(昭和 25 年)4 月

資本金：6,000 万円

事業内容：子ども服・子ども向け用品・ベビー用品を主力とするアパレルメーカー

所在地：兵庫県神戸市中央区磯上通 4-3-10

URL：<https://www.familiar.co.jp>

## 【ファミリア公式 SNS 情報】

■Facebook URL：<https://www.facebook.com/familiar1950>

■Instagram アカウント名：familiar\_tokyo URL：[https://www.instagram.com/familiar\\_tokyo/](https://www.instagram.com/familiar_tokyo/)

### 【読者、一般のお客様からのお問い合わせ】

株式会社ファミリア カスタマーサービスセンター  
0120-078-345

### 【本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ】

ファミリア PR 事務局 MAIL:[familiar@vectorinc.co.jp](mailto:familiar@vectorinc.co.jp)  
TEL:03-5572-7305/FAX:03-5572-6065